バレーボール競技実施要領（精神）

１．競技規則

平成２９年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（（公財）日本障がい者スポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

２．チーム

ア　チームの構成は、監督１名、コーチ１名、マネージャー１名、選手１２名以内とする。

イ　男女混合でチームを構成する。

３．競技方法

（１）試合は６人制で行い、常時１名以上の女性選手が出場していること。

（２）トーナメント方式とし、３位決定戦を実施する。

（３）全試合３セットマッチとし、２セットを先取したチームを勝ちとする。

１セット２５点のラリーポイント制とする。なお、得点が「２４対２４」の同点となった場合、それ以降は、２点リードしたチームがそのセットの勝者とする。

（４）第３セットは２５点制で行い、コートの交代はいずれかのチームが１３点先取した時に行う。

（５）第３試合は、第２試合が全て終了後４０分後に開始する。

（６）試合球は、（公財）日本バレーボール協会制定のソフトバレーボール球・糸巻きを使用する。

（７）その他、監督者会議の場において、申し合わせ事項を設けて競技することができる。

４．競技用の服装

（１）ナンバーは、１番から１２番までが望ましい。やむを得ない場合は、１番から９９番までとする。

なお、チーム名、キャプテンマーク及び背番号等のサイズは、規定のものとする。

（２）リベロプレーヤーを採用する場合は、他の競技者と区別できるユニホームを着用すること。

（３）監督・コーチ・マネージャーは規定のマークを左胸につけること。

５．その他

（１）選手の交代（負傷による例外的な交代も含む）を行う場合、交代後も必ず女性選手が１名以上出場していなければならない。不可能な場合には、その時点でゲーム終了とし、そのセットより無効となり不戦敗とする。

（２）プロトコールは、(公財)日本バレーボール協会６人制競技規則に準拠し１１

分で行う。

（３）前の試合終了１０分後にプロトコールを開始する。

（４）チームが連続して試合となる場合は、前の試合終了１５分後にプロトコールを開始する。

（５）組み合わせは、事前に開催する監督者会議の場にて決定する。

（６）選手宣誓は、トーナメント番号の最も小さいチームから１名選び、行う。